

ばらんす

■編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3-3 ☎0287-23-8718・FAX 0287-24-2528

第20回 男女共同参画社会を考えるつどい

平成16年1月24日(土)大田原市総合文化会館において「男女共同参画社会を考えるつどい」が開催されました。

第一部 寸劇「変わってほしい私のまわり」 第二部 講演「時代は変わる 女の生き方を考える」 樋口 恵子さんの歯切れの良い説得力あふれる口調に会場は頷く人やメモを取る人たちが多く見られました。



講演で熱弁の樋口恵子さん



樋口恵子さんを囲んで記念撮影

講師紹介

樋口 恵子

- ・「高齢社会をよくする女性の会」の代表
- ・「女性と仕事の未来館」館長
- ・その他著書多数

樋口さんは大阪でのテレビ生番組に出演をされ、その足で大田原の会場へ駆けつけられました。

●講演内容

- *納税者としての自覚をもとう！
 - *日本はアジアの一員。もっと隣国を知って、交流すべき！
 - *男性が育児休暇を使って少子化に歯止めを！
 - *職業・暮らし方・育児は性別を越えて！
 - *育児・介護等は、家族と隣人として支えあえる社会に！
 - *50年後は老人社会。元気な老人を増やし、貧しい老人を作らないためには今何をすべきか！
 - *障害者になっても尊厳を持てる社会に！
 - *「五つ星の社会」こそ最高の高齢者社会！
 - *「ボケたら帳・死んだら帳」を作って自分の備えに！
 - *人生百歳までのライフプランを立てよう！
- たくさん問題提起がありました。

「ほしい!! わたしのまわり」

場面1：赤ちゃん誕生



病院から初孫誕生の知らせを聞いての
祖父母の会話

なりました。

女の子だって
初孫ですもの。
お赤飯の用意を
しなくちゃ。



はじめまして 私、大田原考子です。
「男女共同参画社会を考えるつどい」の中で
有志のみなさんが演じた寸劇を
紹介します。
一緒に考え、気づいて
「変える」ことにチャレンジして
くださいね。



参加者からは名演技に笑い声も!

場面2：OLたちのつづやき



仕事が終わる会社の化粧室で「仕事に責任を
持ちたいのに… 片づけ、茶碗洗い、コピー
…大事な仕事なんて回ってこない」と3人で
ため息です。

場面3：家庭での男女の 役割分担



うちなんか、親の介護
家事・洗濯・子どもの学校のこと
ぜんぶ女の仕事としか
おもってないわ。

主婦と玄関前での会話

寸劇「変わって

アッ大変!
会社に遅れる。
ゴミも出さなくちゃ!
あーあ
なぜ男の僕ばかり
こんなに
忙しいんだろう。

場面5：家庭編（役割分担意識）



妻は朝食の用意されたテーブルでゆっくりと新聞を読み、夫は出勤前に洗濯・お弁当作りと、てんてこ舞いの忙しさ!



女があ...

場面4・5では、「男と女とりかえはや物語」と題し、職場編・家庭編と分け、日常何気なく起こっている、男と女の役割を取り替えて、表現してみました。



会場の参

場面4：職場編（仕事と結婚）



管理職はほとんどが女性。結婚は嬉しいけれど結婚後男性は結婚退職と「名前が変わることが男の幸せ」と課長に言われ、悩んでいます。

うちではね、
夫の家事への参加は
親も解ってくれているのよ。



回覧板を持って来た隣の

平成十五年女性のための ステップアップ講座に 参加して



伊藤 秀子

今回の研修に参加して自分がどれだけアップしたかは疑問が残るが、毎日の生活の中で知ることの出来ない分野を学ぶことが出来た。

六回の講座の中で、OA機器の活用、レクリエーション、老人福祉、松尾芭蕉の足跡、ごみをめぐる環境問題、男女共同参画社会のあり方等、多方面にわたって学習した。

学習のなかで感じたことはたくさんある。「リーダーとしてたいせつなこと」は調和・協調・指導力・行動力・人間性で、やる気を起こさせることや人間関係づくりが重要であること。「良い人のまねをする生き方が後輩を育てる」とのこと。私も人生の良い先輩をさがして、いつの日か後輩を育てられたらと思った。

また、「男女共同参画社会を目指して」今、社会環境はめまぐるしく変化している。その中で、まず自分自身の意識を変えることが必要だ。

「どうして」「なぜ」と疑問に思うことが進歩につながる。

そして、女性が経済力をつけること、「男女共同参画社会形成のためには、政治・経済・社会のあらゆる分野において女性がさらに活動の場を広げていくことが求められる」具体的には政策決定の場



第4回 野外研修旅行
「郷土の古典に親しむ」
益子先生のお話聞き入る受講生

に女性がいなければならぬ。
最後に、多くのことを学ぶ事ができ感謝している。日常生活のなかでもステップアップし、身近な人とそれを共有できるようにしていきたい。

にじの会

地域に暮らす人の 健康を考える



会長
天沼 巴子

にじの会について、会長さんに話を聞きました。

Q にじの会ってなに？

A にじの会は愛称で大田原市食生活改善推進連絡協議会といます。

Q にじの会の誕生は？

A 平成七年、大田原市は市民と市が一体となり健康づくりをしよう健康長寿

都市宣言をしました。翌年、食生活改善推進委員教育講座を開設し現在も続いています。内容は幼児期からの成人病予防、脳卒中予防のための食生活改善、健康づくり、地区組織活動のための学習などで、講座修了生たちが「私たちの健康は私たちの手で」とボランティア活動を開始しました。

Q にじの会の活動は？

A 会員数三十七名、保健センターで行われる三歳児検診時のおやつ作り、減塩やバランスを考えたりハビリ研修者への食事作り、配食サービス対象者の学習会、中学生対象の健康づくり、学習会やウォーキング会など身近なことから実施しています。



佐久山中での
「健康づくり学習会」

Q にじの会の活動は大田原市だけ？

A 黒磯市、黒羽町、那須町、湯津上村にもあり共通の学習会、交流もあります。県の組織もあってアンケート調査の協力や決められたテーマでの料理コンクールへの参加など活動は活発化しています。

Q にじの会のこれからは？

A 会員をふやすことです。活動を円滑にするための会員確保や、会員同志が支え合って活動しやすい環境を作ることが今後のテーマです。
(記 古谷)

生涯学習課からのお知らせ

★女性のためのステップアップ講座

女性の地域活動を確かなものにするため、指導者の育成を目指して七月から十二月までに六回開催します。

★女性の海外研修

広く国際的視野を持ち地域に寄与する人材の育成を図るため女性を海外に派遣する研修を実施します。

大田原の街づくりに関心のある女性！ぜひ、チャレンジしてみませんか。新年度になりましたら早い時期に募集を行います。皆さんの応募をお待ちしております。

★大田原市民大学（男女）

社会の変革に伴い、一般教養や現代的課題に対する幅広い知識・技術を習得するための質の高い学習機会の提供と、豊かな教養を持った人材の育成を目指し開学しています。詳しくは広報「おたわら」四月十五日号をご覧ください。

編集後記

春の花々が咲き、また新しい年度がはじまろうとしています。「性差より個性を大切に」と言われていますが、皆さんの周りではいかがでしょうか。新年度こそ、一人一人が大切にされる世の中であるよう祈ります。

編集委員募集

年齢、性別を問いません

編集委員（アイウエオ順）

大久保愛子・栗原敏子・杉山真美子
住吉すみ子・古谷芳子

